

2024

8.28 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Ig884IIUSzGXH2WpHZY6-Q

【技術支援】九州大学 Q-AOS

人工知能を用いた医療データ解析について
～様々な事例のご紹介～

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS コーディネーター)

3 すべての人に
健康と福祉を9 産業と技術革新の
基盤をつくらう11 住み続けられる
まちづくりを

Key Words

人工知能

深層学習

医療データ

ヘルスケア

医療機器

診断予測

新岡 宏彦 教授

九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 健康医療 DX 推進部門

大阪府出身で、2009年に大阪大学にて工学の博士号を取得しました。その後、大阪大学 ナノサイエンスデザイン教育研究センター 特任助教 (2009 - 2012)、大阪大学 大学院基礎工学研究科 機能創成専攻 生体工学領域 助教 (2012 - 2017)、大阪大学 データビリティフロンティア機構 特任准教授 (2017 - 2022)、大阪大学、情報科学研究科 情報数理学専攻 特任准教授 (2022 - 2024) を経て、2024年2月に九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 健康医療 DX 推進部門の教授として着任いたしました。主な研究テーマは「人工知能を用いたバイオメディカルデータ解析」で、先端医療計測デバイスと人工知能を用いた研究や医師の負担を軽減する人工知能の研究に興味があります。これまでに、コニカミノルタ 科学技術振興財団・日本生体医工学会 大会奨励賞、第八回風戸研究奨励賞、第35回応用物理学会論文奨励賞、大阪大学 総長奨励賞を受賞しました。

人工知能技術の発展により、CT 画像、MRI、エコー画像、病理画像など、様々な医療画像データに対する自動診断予測が可能になってきました。自動診断予測により、医師の見落としリスクや負担を軽減することが可能になります。体に身につけるウェアラブルデバイスでヘルスケアデータを取得し、AI を用いて個人の状態を自動的にモニタリングする技術も開発が進んでいます。さらに、近年の ChatGPT に代表されるような大規模言語モデルの登場により、様々な医療データに対して、人工知能が言語による説明や提案を行うようになってきました。医師と人工知能が対話し、意思決定を行う未来が近づいていると感じます。本セミナーでは上記について事例を紹介しつつ解説します。